

年頭のごあいさつ

公益財団法人 湯浅報恩会 寿泉堂香久山病院
院長 春山 和見



新年あけましておめでとうございます。

昨年は社会問題の事件が数多くありました。某大手銀行による暴力団勢力との長年の取引、医療グループの選挙法違反容疑と献金疑惑、有名ホテルや百貨店の食材虚偽表示、JR北海道のレール幅測定データの改ざん事件など大変深刻な問題と言えましょう。一方、昨年の11月からは福島原発4号機の使用済み核燃料の取り出しと移送も始まりました。7年後には東京オリンピックが開催されますが、まさか偽装食品や放射能でおもてなしをするわけにはいかないでしょう。安全、安心、信用を第一にしていきたいと思います。

ともあれ、寿泉堂香久山病院では昨年の1月に第2病棟をそれまでの入院基本料ⅡからⅠへ、回復期リハビリテーション病棟の入院料ⅡをⅠへ転換、さらに9月より充実加算を取得しました。充実加算は1日当たりのリハビリの時間を多くするものです。これら病棟の再編により、今まで以上の重症度の高い患者さんが入院の対象となる一方で、積極的な治療により早期の自宅復帰をはかることを目指してまいります。

今後とも医療の質、サービスの向上に努めてまいります。皆様のご助言、ご支援を宜しくお願いいたします。

クリスマス会・キャンドルサービス

12月12日にリハビリテーションセンターにおいて恒例の『クリスマス会』を開催しました。

今年は、職員や郡山女子大生による演奏や歌唱・じゃんけん大会・新入職員による踊り・時代劇が披露されました。

また、最後に当院職員で構成する下町座による“水戸黄門”が演じられ、会場から笑いが沸き起こるなど終始和やかな雰囲気の中で執り行われました。

夕方からは全病棟で『キャンドルサービス』を行いました。郡山東高校の生徒さんや郡山女子大生の皆さんと当院スタッフがサンタクロースやトナカイに扮し、入院患者さん一人ひとりにささやかではありますがクリスマスプレゼントを手渡しました。

